








日付	2023年7月25日(火)	天候	晴れ
主な日程	レジストロ農家研修(マガリオ農場)		
時間	研修内容	研修の写真	
9:00 バナナ農園	バナナ農園を営んでいるマガリオさんにお世話になりました。午前9時からバナナの収穫の見学と実習をしながら栽培方法について学びました。ナタでバナナを切り落とし、そのバナナを受け止める方法で収穫します。所有する8万本のバナナを全て手作業で行います。機械だとバナナを傷つけてしまい、黒く変色すると聞きました。大規模農業には、大型機械が絶対に必要だと思っていましたが、効率ではなく品質を重視した栽培方法を実践していることを学びました。		
12:00 セッチハーバス市長との面談	セッチハーバス市長にお会いしました。セッチハーバス市は、缶やビンのポイ捨てによる環境悪化が問題になっていることを伺いました。問題を解決するために、学校教育に力を注ぎ、汚かった川がサンパウロ州で最もきれいな川と言われるようになったことに、誇りを持っておられました。		
14:00 水牛農場	午後は水牛の農場を訪問しました。飼料は、ビール生産する際に残るビールの残渣を使っていました。牧草よりも消化能力が高いのが利点だそうです。水牛の乳を試飲させて頂きました。牛乳よりも香りが薄く、甘味もあっさりしていたため飲みやすかったです。また、βカロテンを含むため、白色を保つのが水牛の乳の特徴だと聞きました。牛乳とは異なる特徴がいくつもあることに驚きました。 文責 黒崎・水梨		

日付	2023年7月25日(火)	天候	晴れ
主な日程	レジストロ農家研修(ジョー農場)		
時間	研修内容	研修の写真	
8:00 牧場研修	ホストファミリーであるジョーさんが経営する、バッファロー店へ到着。水牛のミルクやバッファローの肉・チーズが販売されていました。飼育されている家畜は1,800頭、そのうちミルク用は280頭でした。発情管理の仕組みや、子牛の哺乳管理など様々な点が日本とは異なっており、何もかもが新鮮で勉強になりました。次に、水牛の膾の中へと手を挿れる体験をさせていただきました。手順を教えていただきながら手を入れました。水牛の膾は初めてだったので、貴重な体験をさせていただきました。飼料はトウモロコシを使っており、トウモロコシのサイレージと生草(ブラッキヤリア)を混ぜていることを聞きました。		
10:00 牧場研修	主にタンゴラという品種の草を栽培し、最も乳牛に効くとのこと。夏には腰ほどの高さになるとの説明がありました。その草に塩を加え食べさせているという事が分かりました。ここで飼育されているのは肥育牛で、400~500kg級の牛が約500頭飼育されていました。日本とは違い、500kgを超えたら値段が下がるので、500kg手前を目安として出荷していることが分かりました。ブラジルで、日本との家畜の飼育の違いが分かり大変勉強になりました。 文責 小倉・佐野		

日付	2023年7月25日(火)	天候	晴れ
主な日程	レジストロ農家研修(佐々木農場)		
時間	研修内容	研修の写真	
9:00 観葉植物園	佐々木さんの家の農園では、約60種類ほどの観葉植物を育てています。車に乗って山の中を30分ほど走った場所に、高さ15メートルほどのヤシの木、ラッキーバンブー(銀葉千年木)、ジャックフルーツ、モンスペラなどの観葉植物が栽培されていました。最近のブラジルは気候変動が激しく、雨が降らない時期が続いて水が足りないこともあると聞きました。		
12:00 出荷準備	出荷準備の実習では、佐々木さんの奥さんが栽培した「幸せの木」を袋詰めする作業を行いました。お客さんが注文した色の花瓶に石を詰め、木を立てます。底に水を入れ、袋に入れて紐で結び箱に詰めて終了です。次にシース(皮)を上から4枚目まで剥がす作業を行いました。土曜日までにバケツ20個ほどに入った「幸せの木」のシースを剥がすと聞いたため、2人で力を合わせて作業を頑張りました。作業中、お孫さんのAlanaさんと日本語についての話や10月頃に日本に行くこと聞いたため、お勧めの場所などの話をして楽しく作業をすることができました。そして最後にみんなでおやつを食べて楽しく終わりました。 文責 入木田・武藤		

日付	2023年7月25日(火)	天候	晴れ
主な日程	レジストロ農家研修(川越農場)		
時間	研修内容	研修の写真	
10:00 バナナ農園見学	バナナ園の見学をしました。迷路のような入り組んだ道を進んで行き、その広大な畑に驚きました。バナナの木を間近で見ると観察し、バナナの受粉や病気の対処法などについて教えて頂きました。その後バナナの調整や出荷方法について知りました。有機肥料を使い環境に配慮した農業をしていることを知ることができ、とても勉強になりました。		
14:30 みかん農園見学	収穫したみかんがパッキング工場に到着すると、機械によって洗浄した後乾燥してワックスをかけます。その後乾燥させ箱に詰めて出荷します。大きな工場です。700haの農場で採れたみかんをパッキングしています。大量のみかんを、一つの機械で大きさの選別まで行っていました。人の目で3度ほど確認していて、流れてきたものを箱詰めする効率的な作業でとても素晴らしかったです。この工場を始める前に川越さんは5つか6つの国を見て歩き、そのうち大きなりんご園のパッキングを参考にして工場を作ったそうです。ヨーロッパから帰って来たばかりの川越さんでしたが、とても笑顔でお話して下さいました。		
16:00 感想	ブラジルに住み、農業を行う日系人の勤勉さに驚きました。私たちと日本語で積極的にコミュニケーションをとってくださる姿や、仕事をより良いものにするために様々な国へ研修に行く姿は、日本には無いものです。このことは私たちも見習い、学びを止めないようにしたいです。 文責 武市・木戸脇・井戸・渡邊		

